

丸亀支部メディア教育研究部会活動報告

1 研究主題

「自ら学び、自ら行動する生徒の育成」
 -さまざまなメディアを活用し、
 主体的に学習する生徒の育成-

2 はじめに

メディア教育部会では、本年度も昨年のテーマを引き継ぎ、教師及び生徒が活用できるメディア機器とその学習内容の充実を目指して研究してきた。

特に本年度は、11月に坂出市立東部中学校で行われた、「四国放送教育研究大会」で南中学校三木教諭が提案者として発表することを受け、メディア教育研究部会でも、今一度放送番組というのを見直し、各校で研究を進めた。

その結果、情報としての番組を、教師が目的を明確にして生徒に提供することで、生徒の学習に対する興味・関心を高めさせたり、主体的に学習に取り組む意欲を身につけさせたりできるのではないかと考えた。

以上のことから、教師が番組を選択する感性を培い、生徒がより主体的に学習するための番組活用の研究を進めることにした。

3 研究内容

(1) 教師の感性をみがく

授業に則した良質の教育番組や、インターネットで使えるデジタル放送番組などが制作されているが、放送番組利用の調査の中で、学校放送番組以外の番組を授業展開の中で効果的に利用しているものがいくつかあった。ドラマやスペシャル番組、クイズ番組などからも、教師が感動でき、学習目標に合うと思う番組があれば録画収集をする。

(2) 使用目的をはっきりさせる

日常の授業における「学習目標」達成の1つの手段・教材として、授業計画の中に放送番組を組み込んでいく。

- ・番組を活用することによって生徒の身につけたい力の明確化
- ・単元、あるいは1時間の授業の流れの中での目的に合わせた番組の位置づけ
- ・教科書や他の資料、実験や実技と関連づけた組み合わせ

4 授業に使用した番組例

理科 「ダーウィンが来た！」



「10min. ボックス理科」

「ステップ&ジャンプ」

「マイクロワールド」



「大科学実験」

「プロジェクトX たたら製鉄」

「皆既日食について」

「美しき日々」

家庭科 「どーする？地球のあした」

美術 「サイエンス0脳科学」

道徳 「そのとき歴史が動いた

～もう一つのワールドカップ～」

国語 「義経(扇の的)」(平家物語)

人権 「そのとき歴史が動いた

～西光万吉の生涯～」

平和 「長崎の鐘は鳴り続ける」

英語 「そのとき歴史が動いた
キング牧師」

特活 「あしたをつかめ
(平成若者仕事図鑑)」
「プロフェッショナル」
「プロジェクトX」

地元がテーマの番組

「さぬきの夢2000」
「きな子」「平山智加」
「ドキュメント四国」

【実践例 1】

「あしたをつかめ(平成若者仕事図鑑)」

番組内容 1話 25分

No.43 のパティシエと No.44 の海上保安官の仕事を紹介する。どちらも一人に焦点を絞り、仕事の内容と、なぜなりたと思ったか、その仕事をするときの大変さや魅力(やりがい)等が紹介されている。

活用内容

- ・ 1年生の進路指導に全員を対象に視聴した。
- ・ ワークシートや資料はダウンロードして作成した。
- ・ 視聴後、ワークシートを使い、自分の将来就きたい仕事についても考えてみた。どんな仕事に就きたいと思うかという質問に対しては、1回目より2回目になると、少し将来像が想像できるようになった生徒もでてきた。

①「海上保安官」はどのようなことをする仕事？

・ 船舶パトロール(取り回り)	・ 漁業監視情報収集
・ 海で安全に暮らす(水難救助など)	・ 地域・海域を巡視する
・ 取り囲み(事件・事故)	

② 川瀬一さんはなぜ「海上保安官」になろうとしたのか？また、どのような人がその仕事に向いているのでしょうか。

なぜ・海をきれいにする 海が静かになる

・ 海の安全を確保する 海が安全になる

・ 海の安全を確保する 海が安全になる

③「海上保安官」の仕事の大変さや魅力(やりがい)は？

・ 船舶以外の海域で言葉が通じず大変。(言葉の壁)	
・ パトロールが大変	・ 海が静かになる
・ 船舶の安全を確保する	・ 海が安全になる
	・ 海が安全になる

④ みなさんは、将来就く仕事について考えたことがありますか。どんな仕事に就きたいと思いますか。目標としている職業があれば理由も含めて書いてください。

・ 目標としている職業
小宮教諭

理由
子供に夢を託したいから。

【実践例 2】

DVD・VHS

道徳や学活の授業でDVDや録画ビデオを視聴しての授業を行った。主な番組はプロジェクトXやプロフェッショナル、クローズアップ現代等である。

三重県で行われた「あこがれ先生プロジェクト」に参加し、その一部をビデオカメラで撮影し、教材にした。「夢をもつことの大切さ」や「一生懸命に取り組む姿のすばらしさ」などについて、現地での映像をまじえながら熱く語った。



5 研究の成果と今後の課題

教師自身が心揺さぶられた番組を選び、その使い方を工夫することにより、生徒の学習への意欲が高まり、自分で考えようとする者が増えてきた。しかし、あくまでも放送番組は授業の主役ではなく、使用する教師の授業力の向上が必要である。今後以下のような研修と、そのための時間確保をしていきたい。

(1) 教師の感性を揺さぶる番組の録画収集

- ・ インターネットや番組表を利用した放送番組の検索や番組を活用した授業展開等の情報交換

(2) 学習目標の明確化と放送番組を取り入れた年間指導計画